



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月30日

上場会社名 東海旅客鉄道株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部

コード番号 9022

URL <http://www.jr-central.co.jp>

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 松本 正之

問合せ先責任者 役職名 取締役広報部長 氏名 宮澤 勝己

TEL (052)564-2549

(百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1)連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	1,165,276	4.2	383,601	11.7	255,915	22.8	149,619	21.8
19年3月期第3四半期	1,118,423	0.6	343,319	0.4	208,458	10.9	122,811	11.5
19年3月期	1,491,269		402,487		236,654		137,144	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	75,950.70	
19年3月期第3四半期	62,087.92	
19年3月期	69,407.69	

(注)パーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	5,200,761	928,808	17.6	463,495.74
19年3月期第3四半期	5,230,699	787,170	14.8	392,159.57
19年3月期	5,164,581	804,412	15.3	400,896.57

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	375,850	161,560	120,724	130,350
19年3月期第3四半期	318,336	132,763	211,788	147,332
19年3月期	427,062	218,395	345,430	36,783

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,537,000	3.1	420,000	4.4	260,000	9.9	153,000	11.6	77,666.91

(注) パーセント表示は、対前期増減率

3. その他

- (1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
(3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記業績予想(平成20年3月期の連結業績予想)については、中間決算発表時の数値から修正しています。業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報を参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

鉄道事業

- ・東海道新幹線については、最新の技術を結集し、ハード・ソフト両面から最高のサービスを提供する新型車両 N700 系の営業運転開始を柱とするダイヤ改正を昨年 7 月に実施し、その後も東海道・山陽新幹線直通「のぞみ」を中心に N700 系車両を順次投入するなど利便性をさらに高めました。また、引き続きご利用の集中する時期・時間帯を中心に弾力的に列車を運行するなど競争力の強化に努めました。
- ・在来線については、昨年度の 313 系車両の新製・投入及びダイヤ改正により整備した輸送基盤を活かしたサービスの提供に努めました。また、平成 16 年の台風の影響によりバス代行輸送を行っていた高山本線角川～猪谷駅間について、復旧工事を完了し、昨年 9 月に全面的に列車の運転を再開しました。
- ・販売面については、「エクスプレス予約」について、より一層のご利用増に努めました。また、本年 3 月の「EX-IC (エクスプレス IC) サービス」の開始、「TOICA (トイカ)」の静岡地区への利用エリアの拡大及び JR 他社との相互利用開始に向けた諸準備を進めました。さらに、京都をはじめ、各方面へ向けた観光キャンペーンを展開したほか、JR 東海「50+ (フィフティ・プラス)」会員に対する魅力ある商品を設定しました。
- ・このような諸施策を実施したうえで、当四半期においても東海道新幹線、在来線とも安全・安定輸送を完遂しました。輸送人キロについては、東海道新幹線は前年同期に比べ 4.4% の増加、在来線は前年同期に比べ 2.2% の増加となりました。

鉄道以外の事業

- ・ジェイアール名古屋タカシマヤについて、平成 18 年 9 月をはじめとする売場改装を実施したことなどにより、売上高は前年同期比 4.9% 増となりました。
- ・主要駅において、高架橋柱等耐震補強及び駅設備改良にあわせ構内店舗のリニューアルを進めました。
- ・保有資産の高度利用や有効活用の観点から、社宅跡地開発を推進し、昨年 4 月に「NAGOYA CENTRAL GARDEN (ナゴヤ セントラルガーデン)」の商業施設を開業するとともに、期分譲マンションの工事に着手したほか、本年 3 月引渡し予定の「セントラルガーデン・レジデンス徳川明倫町」について着実に工事を進めました。また、新横浜駅で建設中の「新横浜中央ビル」について、本年 3 月の開業に向け着実に工事を進めました。
- ・ホテルアソシア静岡ターミナルについて、昨年 8 月には全館休館して全面的な改装工事を進め、「ホテルアソシア静岡」として、昨年 9 月にリニューアルオープンしました。

これらの施策に加え、好調な経済状況もあり、当四半期の営業収益は前年同期比 4.2% 増の 1 兆 1,652 億円となりました。営業利益は前年同期比 11.7% 増の 3,836 億円、経常利益は前年同期比 22.8% 増の 2,559 億円、四半期純利益は前年同期比 21.8% 増の 1,496 億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期において、社債及び長期借入による調達を 1,149 億円実施した一方、鉄道施設購入長期未払金及び長期借入金を 1,516 億円返済しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、10～12 月期における運輸収入等の実績を踏まえ、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益をいずれも中間決算発表時の数値から上方修正して、営業収益は 1 兆 5,370 億円、営業利益は 4,200 億円、経常利益は 2,600 億円、当期純利益は 1,530 億円を見込んでいます。

4. その他

該当事項はありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	前連結会計年度 (平成19年3月31日)	当四半期末 (平成19年12月31日)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成18年12月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
流動資産				
1.現金及び預金	32,921	99,249	66,328	136,079
2.受取手形及び売掛金	24,822	30,714	5,892	24,344
3.未収運賃	34,278	21,284	12,993	33,547
4.その他の流動資産	81,543	108,796	27,253	77,259
流動資産合計	173,565	260,045	86,479	271,231
固定資産				
1.有形固定資産	4,696,012	4,658,189	37,823	4,675,764
2.無形固定資産	11,741	11,361	379	12,181
3.投資その他の資産	283,262	271,165	12,096	271,522
固定資産合計	4,991,015	4,940,715	50,299	4,959,468
資産合計	5,164,581	5,200,761	36,180	5,230,699
(負債の部)				
流動負債				
1.支払手形及び買掛金	60,792	40,601	20,191	38,785
2.短期社債	44,999	-	44,999	-
3.1年内返済長期借入金	113,382	139,986	26,604	116,367
4.1年以内に支払う 鉄道施設購入長期未払金	116,697	119,221	2,523	186,082
5.その他の流動負債	322,479	314,341	8,137	295,291
流動負債合計	658,351	614,151	44,200	636,526
固定負債				
1.社債	564,952	644,909	79,957	544,963
2.長期借入金	616,185	600,900	15,284	686,084
3.鉄道施設購入長期未払金	2,087,373	1,956,849	130,524	2,146,284
4.その他の固定負債	433,306	455,141	21,834	429,670
固定負債合計	3,701,817	3,657,801	44,016	3,807,003
負債合計	4,360,169	4,271,952	88,216	4,443,529
(純資産の部)				
株主資本				
1.資本金	112,000	112,000	-	112,000
2.資本剰余金	53,588	53,588	-	53,500
3.利益剰余金	905,776	1,039,619	133,842	891,444
4.自己株式	309,151	309,106	45	309,971
株主資本合計	762,213	896,101	133,888	746,973
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	27,532	17,006	10,526	25,282
評価・換算差額等合計	27,532	17,006	10,526	25,282
少数株主持分	14,665	15,700	1,035	14,914
純資産合計	804,412	928,808	124,396	787,170
負債・純資産合計	5,164,581	5,200,761	36,180	5,230,699

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期	当四半期	増 減	(参考) 前連結会計年度
	(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
営 業 収 益	1,118,423	1,165,276	46,853	1,491,269
営 業 費	775,103	781,675	6,571	1,088,782
1. 運輸業等営業費及び売上原価	648,728	658,337	9,608	922,109
2. 販売費及び一般管理費	126,374	123,337	3,036	166,672
営 業 利 益	343,319	383,601	40,281	402,487
営 業 外 収 益	3,562	4,769	1,207	9,979
1. 受取利息及び受取配当金	767	1,442	674	874
2. その他の営業外収益	2,794	3,326	532	9,104
営 業 外 費 用	138,423	132,455	5,968	175,812
1. 支 払 利 息	21,441	22,562	1,120	28,867
2. 鉄道施設購入長期未払金利息	92,041	81,931	10,109	121,525
3. その他の営業外費用	24,940	27,961	3,020	25,419
経 常 利 益	208,458	255,915	47,456	236,654
特 別 利 益	2,677	6,595	3,917	19,173
1. 工事負担金受入額等	741	5,250	4,509	15,017
2. その他の特別利益	1,936	1,345	591	4,155
特 別 損 失	4,446	7,887	3,440	22,786
1. 固定資産圧縮損	973	5,328	4,355	16,772
2. その他の特別損失	3,473	2,558	914	6,013
税金等調整前四半期(当期)純利益	206,689	254,623	47,934	233,040
法人税、住民税及び事業税	76,869	97,721	20,851	97,823
法人税等調整額	6,076	6,229	153	3,344
少数株主利益	931	1,053	122	1,417
四半期(当期)純利益	122,811	149,619	26,807	137,144

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期	当四半期	増 減	(参考)
	(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		前連結会計年度
	金 額	金 額	金 額	(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
				金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	206,689	254,623	47,934	233,040
2. 減価償却費	160,244	166,843	6,599	215,225
3. 受取利息及び受取配当金	767	1,442	674	874
4. 支払利息	113,483	104,493	8,989	150,393
5. 売上債権の減少額(は増加額)	18,522	7,094	25,616	19,733
6. 仕入債務の増加額(は減少額)	11,196	20,191	8,994	10,810
7. 未払金の増加額(は減少額)	12,490	28,245	15,755	9,779
8. その他	70,768	62,517	8,250	89,365
小計	508,208	545,694	37,485	688,007
9. 利息及び配当金の受取額	793	1,464	670	899
10. 利息の支払額	79,842	73,665	6,176	150,785
11. 法人税等の支払額	110,823	97,642	13,180	111,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,336	375,850	57,514	427,062
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形・無形固定資産の取得による支出	123,136	166,934	43,798	203,558
2. 投資有価証券の売却による収入	11	1,331	1,319	11
3. その他(純額)	9,639	4,042	13,682	14,849
投資活動によるキャッシュ・フロー	132,763	161,560	28,796	218,395
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期社債の純増加額(は純減少額)	-	44,999	44,999	44,999
2. 社債発行・長期借入による収入	282,063	114,954	167,109	321,851
3. 長期債務の返済による支出	148,097	151,680	3,582	369,077
4. 自己株式の取得による支出	308,988	-	308,988	308,988
5. その他(純額)	36,764	38,998	2,233	34,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	211,788	120,724	91,064	345,430
現金及び現金同等物の増加額(は減少額)	26,215	93,566	119,781	136,763
現金及び現金同等物の期首残高	172,723	36,783	135,939	172,723
連結子会社による非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	824	-	824	824
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	147,332	130,350	16,982	36,783

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	908,852	138,149	28,834	42,585	1,118,423	-	1,118,423
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,816	6,739	15,193	50,518	81,267	(81,267)	-
計	917,669	144,889	44,028	93,104	1,199,690	(81,267)	1,118,423
営 業 費 用	591,964	139,239	33,626	91,744	856,573	(81,470)	775,103
営 業 利 益	325,704	5,650	10,401	1,360	343,117	202	343,319

当四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	944,043	143,525	29,662	48,044	1,165,276	-	1,165,276
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,681	6,006	15,569	52,946	84,203	(84,203)	-
計	953,724	149,531	45,232	100,991	1,249,479	(84,203)	1,165,276
営 業 費 用	584,518	143,395	37,419	100,512	865,845	(84,170)	781,675
営 業 利 益	369,206	6,136	7,813	478	383,634	(33)	383,601

(参考) 前連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位 百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,200,353	187,197	41,895	61,823	1,491,269		1,491,269
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,714	8,643	20,703	97,670	138,732	(138,732)	
計	1,212,067	195,840	62,599	159,494	1,630,002	(138,732)	1,491,269
営 業 費 用	834,527	188,278	48,857	155,294	1,226,957	(138,175)	1,088,782
営 業 利 益	377,539	7,562	13,741	4,200	403,044	(556)	402,487

平成19年4～12月期の業績の概要（連結）

平成20年1月30日
東海旅客鉄道株式会社

1. 経営成績の概要

- ・昨年9月までの上期に続き、この四半期（10～12月）においても、東海道新幹線・在来線のご利用が増加するとともにグループ事業も好調で、4～12月期は、中間期同様、増収・増益の決算となった。

(1) 営業収益（1兆1,652億円 前年同期比+468億円、4.2%増）

- ・当社単体の運輸収入は、339億円（3.9%）増（＝中間期234億円増+この四半期105億円増）の9,038億円となった。

・東海道新幹線については、昨年7月のダイヤ改正でN700系の営業運転を開始するとともに、その後も東海道・山陽新幹線直通「のぞみ」を中心に同車両を順次投入するなど、引き続き競争力強化施策を行った。この結果、輸送人キロが4.4%増加し、運輸収入は322億円（4.1%）増の8,233億円となった。

・在来線については、特急列車、普通列車のご利用が全般的に好調で、輸送人キロが2.2%増加し、運輸収入は17億円（2.2%）増の804億円となった。

・こうしたなか、本年3月の「EX-IC（エクスプレスIC）サービス」の開始や、「TOICA（トイカ）」の静岡地区への導入、JR他社との相互利用開始に向けた諸準備を進めた。

- ・鉄道以外の事業についても、ジェイアール名古屋タカシマヤがリニューアルを行った売場を中心に売上増となったほか、新幹線のご利用増等に伴い主要駅の構内店舗も好調であった。

(2) 営業費（7,816億円 前年同期比+65億円、0.8%増）

- ・N700系の投入や税制改正の影響に伴い減価償却費が増加した。

(3) 営業利益（3,836億円 前年同期比+402億円、11.7%増）

(4) 営業外損益（1,276億円 前年同期比71億円改善）

- ・長期債務の平均金利の低下などに伴い、支払利息が89億円減少した。

(5) 経常利益（2,559億円 前年同期比+474億円、22.8%増）

(6) 特別損益（12億円 前年同期比+4億円）

(7) 四半期純利益（1,496億円 前年同期比+268億円、21.8%増）

2. 平成20年3月期の業績予想

- ・通期の業績予想については、この四半期における運輸収入等の実績を踏まえ、中間決算発表時の数値から次のとおり上方修正する（いずれも過去最大）。

営業収益	1兆5,370億円	（修正額	+110億円	前期比	+3.1%）
営業利益	4,200億円	（同	+110億円	同	+4.4%）
経常利益	2,600億円	（同	+110億円	同	+9.9%）
当期純利益	1,530億円	（同	+70億円	同	+11.6%）

〔別紙2〕

(要約) 四半期 個別 貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	前事業年度 (平成19年3月31日)	当四半期末 (平成19年12月31日)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成18年12月31日)
(資産の部)				
流動資産	136,640	218,304	81,663	235,131
固定資産	4,866,859	4,823,312	43,546	4,835,664
資産合計	5,003,499	5,041,616	38,116	5,070,796
(負債の部)				
流動負債	654,845	606,766	48,078	635,642
固定負債	3,586,273	3,551,179	35,093	3,689,413
負債合計	4,241,118	4,157,946	83,171	4,325,055
(純資産の部)				
資本金	112,000	112,000	-	112,000
資本剰余金	53,586	53,586	-	53,500
利益剰余金	877,712	1,009,471	131,758	864,212
自己株式	308,168	308,168	-	308,988
株主資本合計	735,130	866,889	131,758	720,724
その他有価証券評価差額金	27,251	16,781	10,470	25,016
評価・換算差額等合計	27,251	16,781	10,470	25,016
純資産合計	762,381	883,670	121,288	745,740
負債・純資産合計	5,003,499	5,041,616	38,116	5,070,796

(要約) 四半期 個別 損益計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	当四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	増 減	(参考) 前事業年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業収益	917,676	954,253	36,576	1,212,314
営業費	589,233	583,392	5,840	831,491
営業利益	328,443	370,860	42,417	380,823
営業外収益	2,822	4,878	2,055	9,351
営業外費用	136,633	131,168	5,465	173,444
経常利益	194,632	244,570	49,938	216,730
特別利益	1,920	6,993	5,073	19,104
特別損失	1,546	5,335	3,788	17,868
税引前四半期(当期)純利益	195,006	246,228	51,222	217,966
法人税、住民税及び事業税	72,932	93,148	20,216	90,801
法人税等調整額	5,431	5,545	113	2,976
四半期(当期)純利益	116,641	147,535	30,893	130,141

平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	1,252,000 3.3	402,000 5.6	244,000 12.6	147,000 13.0	74,542.59

(注) パーセント表示は、対前期増減率

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記業績予想(平成20年3月期の個別業績予想)については、10~12月期における運輸収入等の実績を踏まえ、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益をいずれも中間決算発表時の数値から上方修正しています。

〔別紙3〕

輸送人キ口および運輸収入の比較

(単位 百万人キ口、億円)

			平成18年 4～12月累計	平成19年4～12月累計		(参考) 平成19年10～12月の		
					前年同期比(%)	3ヶ月実績	前年同期比(%)	
輸 送 人 キ 口	新 幹 線	定期	950	989	104.2	322	103.6	
		定期外	32,819	34,275	104.4	11,693	103.8	
		合計	33,769	35,265	104.4	12,016	103.8	
	在 来 線	定期	4,069	4,129	101.5	1,350	101.4	
		定期外	2,837	2,927	103.2	976	102.7	
		合計	6,907	7,056	102.2	2,325	101.9	
	合 計	定期	5,019	5,118	102.0	1,672	101.8	
		定期外	35,656	37,202	104.3	12,669	103.7	
		合計	40,675	42,321	104.0	14,341	103.5	
	運 輸 収 入	運 賃 ・ 料 金	新 幹 線	定期	114	119	104.4	39
定期外			7,797	8,114	104.1	2,782	103.7	
合計			7,911	8,233	104.1	2,822	103.7	
在 来 線		定期	252	256	101.6	85	101.4	
		定期外	534	547	102.5	182	102.2	
		合計	787	804	102.2	268	101.9	
合 計		定期	366	376	102.5	125	102.3	
		定期外	8,331	8,662	104.0	2,965	103.6	
		合計	8,698	9,038	103.9	3,090	103.5	
小荷物運賃・料金		0	0	91.9	0	100.0		
合計		8,699	9,038	103.9	3,090	103.5		

- (注) 1. 当社単体に係る輸送人キ口および運輸収入を記載
2. 輸送人キ口は単位未満端数四捨五入
3. 運輸収入は単位未満端数切捨